

君の夢プロジェクト

今年も中学生を応援する君の夢プロジェクトが始動！
剣道部（9人）は、昨年同様、北海道警察機動隊へ出向き、熱のこもった稽古（指導）を受けました。



剣道部編

◆◆◆ 7月25日 ◆◆◆

剣道部の君の夢プロジェクトでは、昨年に引き続き、北海道警察機動隊剣道部による稽古及び指導が行われました。

比布中学校剣道部員9人（3年生2人、2年生2人、1年生5人）の指導を行ったのは、北海道警察本部警備部の若生大輔さんと剣道特別訓練員の方々です。

7月の猛暑の中、剣道特別訓練員の方々から指導を受けました。昨年参加した土屋美沙希

さん（3年）は「前回、波間先生に注意されたことに気をつけて今回の稽古を受けました。今回注意されたことは、手を伸ばすことと、声を出すこと。また、切り返しの時の受け方や打ち方などの注意を受けました。どれも基本的なことですが、道警のみなさん方の稽古を見ていて基本というのには大事なのだと感じました。自分にとって最後の、君の夢プロジェクトをいい形で終わることができてとても良かったです。」と振り返ります。

同じく久保田颯さん（3年）は「特別訓練員の方から『昨年より成長しているね』と言われて、自分では気付かないけれど、成長しているのだなとちよつと自信ができました。また、相手を崩すためにはパワーもスピードも大切だということがわかりました。」と足りない部分を見つめ直すことができた感想を話します。

また、久保田夏生さん（2年）は「基本稽古では、『肘が曲がっているから打ちが弱い』と言われる、打つ時に腕を振りしぼり肘を伸ばして打つ

たら、打ちの強さが格段に良くなりました。また全道、全国トップレベルの道警の方に『胴打ちが上手』とほめられてうれしいし、とても自信を持ってました。これからは積極的に胴を使い、技のバリエーションを増やそうと思います。」との確かなアドバイスのおかげで自分の打ち方を再確認できたと言います。

同じく堺七虹さん（2年）は「構え方からアドバイスももらい両腕に力を入れず、いつもより上の位置で構えることで今までの打突の強さよりもさらに強く打てることができました。丁寧に教えてもらい実際の稽古でも取り入れ、実行することができました。休憩後の地稽古、掛かり稽古では、特練の方のお手本姿がとても気迫がこもっていて印象に残りました。」と熱い指導してくれた剣道特別訓練員の皆さんの所作の一つ一つから学ぶものがあつたと話します。

今回の貴重な経験を生かしていただき、今後も剣道部のさらなる活躍を期待します。

スクールソーシャルワーカー（SSW）を配置しつづけます

スクールソーシャルワーカーは、児童生徒のいじめや不登校などの様々な問題や子育ての悩みについて、保護者の皆さんと一緒に考えます。必要に応じて、関係機関と連携を図るなどしながら解決を目指します。

子ども全般の相談を行っています。心配ごとや気になることがありましたら、各学校または教育委員会までお気軽にお問い合わせください。

スクールソーシャルワーカー（SSW）の役割

「学校という場」で、「子ども」の最善の利益のために、次のとおり実施します。
①課題を抱えた児童生徒の置かれた環境への働きかけを行う。

- ②校内におけるチーム支援体制の構築、支援を行う。
- ③関係機関等とのネットワークの連携・仲介・協働を行う。
- ④保護者、教職員などに対する支援や相談・情報提供を行う。

よろしくお願ひします
スクールソーシャルワーカーの畠 伸広です



今年の3月まで中央小学校でお世話になっていました。引き続きよろしくお願ひします。

比布町の子どもは、とても

素晴らしいと思っています。その要因として、保護者はもちろんですが、子どもを取り巻く多くの大人が真剣に丁寧に力強く支えているからだと思っています。

しかし、子どもたちは成長の途中です。当然、未発達で未熟なのです。ですから、折にふれ不安や悩みに襲われたり、未経験の感情に恐れたり、原因不明の体調不良に襲われたりすることは、珍しいことではありません。

さて、私の役目は学校教育と家庭教育の応援団として、子どもや保護者、教職員や学校が抱えている課題を受け止め、解決への道筋を探る手助けができればと思っています。

【問い合わせ】
生涯学習課学校教育係
☎05・2262

ソフトテニス 全国大会出場おめでとう 山田萌華さん・田中仁湖さんペア

8月21日から3日間にわたり広島県尾道市で開催された「全国中学校ソフトテニス大会」。比布中学校3年の山田萌華さんと田中仁湖さんペアが8月17日、村中町長と谷教育長のもとを訪れ、出場報告を行いました。

全国大会へ向けて、山田さんは「7年間の集大成として頑張りたい」、田中さんは「お世話になった人たちに感謝して頑張りたい」と意気込みを語りました。



北海道危険物安全協会連合会長表彰 JAぴっぷ町が受賞

比布町農業協同組合（ホクレン比布給油所）に北海道危険物安全協会会長から表彰状が贈られました。多年にわたり危険物安全協会の安全に関する事業を積極的に推進し貢献した事業所に贈られるもので、道内では80事業所が受賞しています。

平成4年から現在地で営業を開始してからも関係法規を遵守し、施設の管理保安状況も良好であり、平成27年には、より安全な2重殻の地下タンクに交換し事故の無い活動を続けています。

